

76. さつきの里 新津郷の農業を支える用水施設				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
水田揚排水機場	秋葉区西部の農地1,806haに灌漑する農業用水を信濃川から取水する取水機能と田上地域からの排水も同じポンプを使って行う排水機能を兼ね備えた珍しい施設です。	新潟市秋葉区	新潟市	用水機場 排水機場
水田幹線用水路	水田揚排水機場からの農業用水を秋葉区西部の農地1,806haに灌漑する延長6,335mの幹線水路です。	新潟市秋葉区	新津郷土地改良区	用水路
車場揚水機場	秋葉区北西部の農地1,096haに灌漑する農業用水を小阿賀野川から取水する施設です。	新潟市秋葉区	新潟市	用水機場
車場幹線用水路	車場揚水機場からの農業用水を秋葉区北西部の農地1,096haに灌漑する延長2,100mの幹線水路です。	新潟市秋葉区	新津郷土地改良区	用水路
一之堰 (新津堰)跡地	一之堰は1533年(天文2)年、澤田半右衛門が創始した新津で最も古い用水堰で、能代川を堰上げ右岸全体耕地に用水を取入れるために設けられました。初めは新津堰または草水堰と言われていましたが、下流にも堰が出来るようになると上流から順に一之堰、二之堰、三之堰と呼ぶようになりました。一之堰、二之堰は1967年(昭和42)年の阿賀用水完成により使命を終えました。三之堰も、水害を機に能代川分流工事が行われ、1975(昭和50)年に撤去されました。現在は、一之堰の跡が能代川分流記念公園の中に残っています。	新潟市秋葉区草水町	新潟市	頭首工

77. 新津郷の農地や集落を守る排水施設				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
大秋排水機場 覚路津排水機場	大秋排水機場、覚路津排水機場は信濃川、小阿賀野川、能代川、五社川、新津丘陵に囲まれた流域6,810haの排水施設です。地域は輪中地形で長く水害に悩まされてきましたが、昭和42年8月28日の羽越水害を契機に国営新津郷農業水利事業によってこれらの排水機場が建設され郷内の湛水被害の軽減に貢献しています。	新潟市秋葉区大秋 新潟市秋葉区覚路津	新潟県	排水機場

78. オオヒシクイの越冬地 福島潟を守る排水施設				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
福島潟	江戸時代に阿賀野川が松ヶ崎で日本海へ注ぐようになって福島潟干拓の歴史が始まります。国営事業で昭和36年に新井郷川排水機場が完成すると昭和41年から干拓事業が進められました。169ヘクタールの農地が生まれ潟の北側を遊水池として昭和50年(底地の登録年、干拓工事は昭和52年3月に完了)に完工しました。現在、遊水池部分は土地改良施設かつ、一級河川新井郷川で国の天然記念物に指定されるオオヒシクイの国最大級の越冬地でありオニバスの北限の生息域となっています。その他、絶滅危惧の13種の植物も確認される自然豊かな湿地となっています。環境省の「日本の重要湿地500」、「21世紀に残したい日本の自然100選」、「にいがたの景勝100選」、「かおり風景100選」に選定され、四季を通じ多くの来訪者があります。	新潟市北区新島	豊栄土改 (管理受託)	調整池
新井郷川排水機場	新井郷川排水機場は福島潟の水位を安全に保つため24時間排水運転しています。現在の施設は平成7年に完成した2代目の機場で毎秒110m ³ を排水する能力があります。	新潟市北区濁川	新潟県	排水機場

79. 芦沼の里 亀田郷の農業を支える用水施設				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
沢海揚水機場	沢海揚水機場は満願寺開門(こうもん)の直下流から亀田郷の農地2,590haに灌漑する取水施設です。地盤沈下に起因した施設障害を解消するため平成16年度から更新が進められ、平成22年4月からは4代目の機場が稼働しています。	新潟市江南区	亀田郷土地改良区	用水機場
両川用水路	両川用水路は小阿賀野川から両川揚水機場で取水した農業用水を送水する施設です。水路改修の際に地域でワークショップを行い、江戸時代に有名だった「亀田綿」を復活させようとする原料となる綿を栽培することにしました。亀田綿は綿を太くよって藍染めをした丈夫な生地で1970年頃まで農作業用の着物に使われました。	新潟市江南区	亀田郷土地改良区	用水路
西線用水路	西線用水路は信濃川から舞潟揚水機場で取水した農業用水を送水する施設です。冬期には全国初の環境用水も流れる水路です。	新潟市江南区	亀田郷土地改良区	用水路
海老ヶ瀬用水路	海老ヶ瀬用水路は竹尾揚水機で鳥屋野潟から取水し海老ヶ瀬地域に送水する施設です。市街化が進む中、水路脇にアジサイの植栽を行い地域に潤いの空間を提供しています。近くには絶滅危惧種に指定されているミズアオイ(水生植物)が発見され住民ぐるみの保全活動が進められています。	新潟市東区	亀田郷土地改良区	用水路

80. 全国初の環境用水流れる水利施設				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
舞潟揚水機場 清五郎排水路 新堀排水路 大堀排水路 鍋湯排水路	輪中地帯である亀田郷では灌漑用水の取水が終わると、水路や河川、それらが集まる鳥屋野潟の水質の悪化が課題でした。このため、新潟市は全国初の水質改善のための水利権を取得し用水路などを使って冬期間も用水を流しています。農業水利施設が地域の水環境や動植物の生息環境の保全、潤いのある地域づくりにも貢献しています。	新潟市江南区	亀田郷土地改良区	用水機場 排水路
清五郎排水路 ワンド	ワンドとは川のよどみや水たまりのようなところです。清五郎排水路の下流部に水質の浄化や生態系の保全を目指し平成15年に650m ² のワンド(湧池)を設けました。環境用水によって冬季も水が流れるため、現在では地域住民の手で植えられたハス、セリ、キショウブとともに自生するガマやコウホネが植物群落をつくり、イトトンボ、コイ、フナなど多様な水辺の生物が生息しています。	新潟市江南区	亀田郷土地改良区	排水路
清五郎排水路 丸湯あじさい	「水辺の宝づくり」として丸湯新田地区の住民が清五郎排水路の改修計画づくりから参加して作り上げた水路です。その際、植えたアジサイが初夏の風物として地域の評判を呼び、手作りの灯籠を並べる「あじさい灯籠まつり」となりました。	新潟市江南区	亀田郷土地改良区	排水路
清五郎排水路 丸湯再生湿地	環境用水によって冬季も水が流れるため、新潟大学と地域が連携して休耕田を利用した湿地の再生(再生湿地)に取り組んでいます。排水路と湿地をつなぐ魚道が設置され水と緑のネットワークができたこともあって湿地を好む多様な動植物が集まっています。	新潟市江南区	亀田郷土地改良区	排水路

8 1. 芦沼を美田に変えた排水施設				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
親松排水機場	親松排水機場は最大毎秒60mを排水し24時間稼働する亀田郷の最も重要な排水施設です。前身の栗ノ木排水機場が昭和23年に完成したことで亀田郷は芦沼（あしぬま）から美田や市街地の広がる地域となりましたが、昭和39年新潟地震を契機に栗ノ木排水機場の機能が低下したため、昭和43年現在地に毎秒60mの親松排水機場が建設されました。平成19年更新された2代目親松排水機場は今も亀田郷を守る最も重要な排水施設で24時間休まず稼働しています。平成24年7月29日には皇太子殿下から行啓いただきました。	新潟市江南区	新潟県	排水機場
横越排水路	横越排水路は通称「すごぼり」と呼ばれ新潟市江南区(旧横越町、旧亀田町)から鳥屋野沼に向って流れる排水施設です。このような排水路が整備され適切に維持されることで郷内は湛水被害から守られています。下流3.5kmには420本の桜並木が続き、毎年ぼんぼりが灯る夜桜の名所となっていますが、この並木は不法投棄から排水路を守ろうと地域の方々自らが平成元年に植栽したもので環境保全の先駆けとなった取組の成果です。	新潟市江南区	亀田郷土地改良区	排水路
新堀排水路	日東道を交差して鳥屋野沼へ流れる亀田郷南西側の重要な排水路です。ゆったりとした水辺景観の中に散策や釣りを楽しむ市民がいます。	新潟市江南区	亀田郷土地改良区	排水路
栗ノ木排水機場跡地	亀田郷の湛水をなくすため昭和23年に造られた毎秒40mを排水した栗ノ木排水機場の跡地です。この機場によって芦沼と呼ばれた亀田郷の農業と暮らしは画期的な転換を遂げましたが、昭和39年新潟地震を契機に栗ノ木排水機場の機能が低下したため、昭和43年親松排水機場にその役割を譲りました。ここには機場基礎や閘門の一部が残る往時を忍ぶことができます。	新潟市東区	国土交通省	その他

8 2. 穀倉 西蒲原の農地や集落を守る排水施設				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
新川河口排水機場	新川河口排水機場は西蒲原地域での洪水を日本海へ吐き出す我が国最大級の排水機場で昭和46年から稼働しています。排水ポンプの大きさは直径4.2mで最大毎秒240mを排水でき建設当時は東洋一と言われていました。洪水時には常時開けている水門を閉じ、この排水ポンプを運転することで西蒲原地域28,289haの農地や集落を守っています。	新潟市西区	新潟県 (管理受託)	排水機場
新川右岸排水機場	新川右岸排水機場は新川下流部の右岸地域1,420haの排水を行う施設です。昭和28年建設後60年近く経過したため平成24年7月新機場にその役割を引き継ぎました。24時間常時運転することで今も地域の農地や集落を守っています。	新潟市西区	新潟県 (管理受託)	排水機場
七穂排水機場	七穂排水機場は旧味方村、旧湯東村地域3,070haの排水を行う施設です。従来、この地域の排水は新川右岸排水機場の排水区域でしたが、50年に1回の大雨にも対応できるよう中ノロ川へ排水する施設として昭和62年に国営事業で建設されました。直径2.2mのポンプ4台で最大毎秒46mを排水することができます。	新潟市南区吉江	新潟県 (管理受託)	排水機場
小新排水機場	小新排水機場は新潟市西区の黒崎、小新地区1,570haの排水を行う施設です。ブランドの黒埼茶豆が栽培され市街化も進むこの地域にとって重要な排水施設です。	新潟市西区	新潟県 (管理受託)	排水機場
鑑潟排水機場	鑑潟排水機場は西蒲原中央部にあった鑑潟やその周辺農地2,700haを排水する施設です。昭和33年から始まった国営鑑潟干拓事業の基幹排水施設で革原の生えていた鑑潟272haが干拓されました。現在この地域には新潟県立農業大学校が建てられ明日の新潟県農業を担う若い人材が育っています。	新潟市西蒲区	新潟市 (管理受託)	排水機場
田潟排水機場	田潟排水機場は新川左岸地域1,140haを排水する施設です。昭和23年ポンプ3台を設置して以来、昭和33年県営でポンプ増設、平成8年国営事業で既設ポンプ2台を廃止し4台を増設しました。田潟は大潟、鑑潟とともに西蒲原の三潟と呼ばれる潟湖でしたが、低平地での農業を維持するために地まめ排水改良が続けられています。	新潟市西区田潟	新潟市 (管理受託)	排水機場
旧木山川排水機場	旧木山川排水機場はこの流域が慢性的な排水不良地域で新川からの溢水が度々あったため昭和32年に常時排水施設として建設されました。昭和30～40年代の中ノロ川流域の地盤沈下で排水機能が低下したため昭和50年第2排水機場を建設し、更に平成2年からは第3排水機場の建設を行って防災機能を向上させています。	新潟市西蒲区遠藤	新潟市 (管理受託)	排水機場
広通江 旧広通江	広通江、旧広通江は新旧ではなく兄弟水路で、ともに西川の西側地域の排水を新川へ流す排水路です。それぞれ違う地域の排水を受け持ち並行する区間では水面の高さで役割の違いがわかります。	新潟市西区	新潟県 西蒲原土地改良区	排水路
横江排水路	横江排水路は新潟市西蒲区黒鳥から小新地域を排水する水路で小新排水機場から西川へ排水されます。水辺に親しめるようふれあい遊歩道が整備されています。	新潟市西区黒鳥	西蒲原土地改良区	排水路
西蒲原排水中央管理所	西蒲原排水中央管理所は西蒲原地域の排水機場、河川水門、用水機場、頭首工などの50施設を集中管理する施設です。西蒲原土地改良区では多くの施設を管理するために大変な苦労をしていますが、中央管理所の設置によって各施設と専用の光ケーブルで結ばれたことで正確な施設操作が可能となり、水位や雨量情報の一元管理、100台以上のカメラによる施設監視と併せて、より安全・確実な施設管理を行えるようになりました。	新潟市西蒲区	新潟県 (管理受託)	その他

8 3. 板壁に昭和の薫る 松橋揚水機場				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
松橋揚水機場	松橋揚水機場は中ノロ川から取水し白根郷北部の農地200haを灌漑するための用水施設です。昭和39年に建てられ白根郷で唯一残る木造の建物からは昭和の懐かしさが感じられます。	新潟市南区	白根郷土地改良区	用水機場

8 4. ルレクチュの里 白根郷の農地や集落を守る排水施設				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
白根排水機場	白根排水機場は白根郷の最北に位置し、洪水時には4台のポンプで最大毎秒38mを中ノロ川へ排水する重要な施設です。昭和49年地盤沈下対策事業によって建設されて以降、24時間常にポンプを運転し白根郷の農業や暮らしを守っています。現施設は平成19年国営事業によって更新された2代目の施設で、中部、萱場排水機場への運転指示もここから行います。	新潟市南区	新潟県	排水機場
中部排水機場	中部排水機場は白根郷の中央部に位置し、昭和52年に地盤沈下対策事業によって建設されました。平成14年国営事業によって増強され、洪水時には4台のポンプで最大毎秒43mを排水します。	新潟市南区	新潟県	排水機場
萱場排水機場	萱場排水機場は白根郷の南に位置し、平成11年国営事業によって新設された機場です。洪水時には3台のポンプで最大毎秒28mを排水します。	新潟市南区	新潟県	排水機場

8 5. 市民の憩う 見附 大平堤				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
大平堤	大平堤は見附市元町の農地66haを灌漑するための貯水施設です。大庄屋小林六左衛門が江戸享保16年(1731)本所組11ヶ村の水不足を補うため延べ3,500人を動員し2年かけて造りました。池の周辺は大平森林公園として整備され見附市民の憩いの空間となっています。	見附市内町	刈谷田川土地改良区	ため池

86. 刈谷田川右岸の農業を支える用水施設

施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
刈谷田川大堰頭首工	刈谷田川大堰から取水された農業用水は見附市の3,300ha農地を灌漑しています。江戸明暦年間（1655～1658）に杭を打ち木の枝や萱などで水を堰き止めた草堰が築かれたことが始まりです。秋には船を通すため堰を壊し、一度洪水にあえば堰はひとたまりもありません。明治41年煉瓦造りの閘門が造られ幾多の改良を重ねられた後、昭和47年水門を開閉できる近代的な可動堰に改良されました。	見附市上新田	刈谷田川土地改良区	頭首工
昭和江揚水機場	刈谷田川大堰から上流5kmほどの刈谷田川右岸の見附市葛巻地内に設置された用水機場で、ここから取水された農業用水は昭和江を流れ見附市昭和町、新潟町から三条市の大面、帯織に至る地域の農地1,121haを潤しています。	見附市葛巻町	見附市	用水機場

87. 越後三山の緑を眺む取水施設

施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
大浦新田頭首工	大浦新田頭首工は三用（みよう）川左岸の農地40haを灌漑するための取水施設です。三用川改修により平成20年に石積み護岸で改修された施設で、背景には越後三山の美しい景色が広がります。農業用水のほか多目的に利用され、地域の暮らしに欠かせない施設です。	南魚沼市雷土新田	大和郷土地改良区	頭首工

88. 開拓の稔りもたらす 八色原の用水施設

施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
水無川頭首工	水無川頭首工は魚野川東部の通称八色原の農地400haを灌漑するための取水施設です。現在の施設は平成8年に完成した2代目で洪水調整を自動で行う機能をもち融雪や梅雨の異常出水に備えています。	南魚沼市大倉	大和郷土地改良区	頭首工
大和揚水機場	大和揚水機場は魚野川東部の通称八色原の農地600haを灌漑するための取水施設です。国営魚野川東部開拓建設事業で昭和43年建設され40年以上が経過する現在も現役で活躍しています。	南魚沼市海士ヶ島新田	大和郷土地改良区	用水機場

89. 小水力発電のある 三国川の用水施設

施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
三国川頭首工	三国川頭首工は三国川流域の農地900haを灌漑するための取水施設です。昭和40年に始まった国営魚野川東部開拓建設事業でこれまでの堰を統廃合して造られ、五条土地改良区の7割の農地を灌漑するほか平成4年からは南魚沼地域の水道水を取水しています。	南魚沼市舞台ほか	五城土地改良区	頭首工
五城発電所	五城発電所は水路式の発電所で平成12年運転を開始しました。三国川頭首工から取水した農業用水の落差を有効利用し、土地改良施設の操作に必要な電力を供給することで維持管理費を軽減しています。	南魚沼市畔地新田	五城土地改良区	発電所

90. 霊峰八海山からの流れを水源とする取水施設

施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
宇田沢川頭首工	宇田沢川頭首工は宇田沢川流域の農地190haを灌漑するための取水施設です。農地に霊峰八海山から流れる清らかな水が美味しい魚沼米の生産を支えています。	南魚沼市山口	五城土地改良区	頭首工

9 1. 西部開田を潤す 南魚沼の用水施設				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
魚野川頭首工 天野沢揚水機場	魚野川左岸地域は地元では西山と呼ばれます。昭和22年から昭和36年まで続いた国営六日町開拓建設事業によって旧塩沢町、旧六日町、旧大和町に至る572haの開田(通称西部開田)が行われ、魚野川頭首工から取水した農業用水を天野沢揚水機場で全長15kmの幹線用水路へ送水し開田地区を含む農地701haを灌漑しています。	南魚沼市中	南魚沼土地改良区	頭首工 用水機場

9 2. カメカチ唄が伝わる 妙高 よし八池				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
よし八池	よし八池は明治33年に建設された灌漑のための水源施設です。堤を固める作業の際に歌われたカメカチ唄が地域の郷土芸能として残っています。標高750mに位置しており雪解け水が水源で透明度が高く、周囲は親水公園として遊歩道や東屋が整備され憩いの場となっています。	妙高市上小沢	葎人用水組合	ため池

9 3. 平成の名水百選 清流 荒川の取水施設				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
荒川頭首工	荒川頭首工は3,340haの農地に必要な農業用水と胎内市の水道水を取り入れる施設です。荒川は平成20年環境省が公表した「平成の名水百選」に選ばれるほど水質が良く銘柄米「岩船産コシヒカリ」の灌漑に利用されます。現在の施設は昭和42年8月28日の羽越水害の復旧事業で造成され昭和48年3月に完成しました。国道113号線に隣接するため車窓からも眺められます。	村上市花立	新潟県	頭首工
雨俣用水路	雨俣用水路は荒川頭首工で取り入れた農業用水を左岸幹線用水路から分水し下流412haに灌漑する用水路です。水路沿いには桜が植樹され憩いの場となっています。	村上市花立	荒川沿岸土地改良区	用水路
岩鼻幹線用水路	岩鼻幹線用水路は荒川頭首工から取り入れた農業用水を右岸1,224haに灌漑する用水路です。水路沿いには桜が植樹され憩いの場となっています。	村上市葛籠山	荒川沿岸土地改良区	用水路
岩鼻1号支線用水路 円筒分水工	岩鼻1号支線用水路円筒分水工は岩鼻幹線用水路から分水した用水を150haの地域に正確に分水する目的で造られました。その後、ほ場の整備が行われたため分水施設としての役割は終えましたが、施設は今も残され灌漑期には勢いよく用水が湧き出しています。JR羽越線に近く車窓からも眺められます。	村上市平林	荒川沿岸土地改良区	用水路
旧岩鼻用水 取水口	旧岩鼻用水取水口は荒川頭首工から500m上流右岸にあり安定的に農業用水を取り入れるために大正4年に完成しました。取水口から236mの手掘隧道を経て岩鼻用水として利用されていましたが、昭和33年に旧荒川頭首工(昭和42年羽越水害で被災し廃止)が完成しその役目を終えました。施設完成を喜ぶ農民の様子が記念写真に残されています。	村上市小岩内	荒川沿岸土地改良区	用水路
神納用水路	神納用水路は荒川頭首工から取水した農業用水を荒川右岸632haに灌漑する水路で昭和10年に完成しました。遠くの農地へできるだけ早く水を届けるため10ヶ所のトンネルが造られています。	村上市神林	荒川沿岸土地改良区	用水路
乙用水路 円筒分水工	乙用水路円筒分水工は160haの地域に農業用水を正確に分水する目的で造られました。その後、ほ場の整備が行われたため分水施設としての役割は終えましたが、施設は今も残され灌漑期には勢いよく用水が湧き出しています。	村上市長政	荒川沿岸土地改良区	用水路

9 4. 鮭遡る 清流三面川の取水施設				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
三面川左岸 頭首工	三面川左岸の農地1,100haに灌漑するための取水施設です。昭和27年から41年にかけて三面川左岸用水路とともに整備され、昭和39年の新潟地震や昭和42年の羽越水害にも耐え今も現役です。秋、三面川を遡る鮭は全国に知られ村上には様々な鮭文化が根付いています。	村上市新屋	三面川沿岸土地改良区	頭首工

9 5. 蛍 夢見る 村上 山辺里の排水路				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
山辺里ホタル 水路	山辺里ホタル水路は平成15年に整備された石積護岸の排水路です。蛍舞う里の復活に期待を込めてホタル水路と名付けられ地域の人々に心和む親水空間を提供しています。	村上市下山田	三面川沿岸土地改良区	用水路

96. 冷水を温めて流す 大須戸温水ため池				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
大須戸温水ため池	大須戸温水ため池は大須戸地域の農地28haに水稻の苗にやさしい温んだ水を供給する貯水施設です。平成2年の改修時に併設された公園は地域住民や写真愛好家の憩いの場となっています。	村上市大須戸	三面川沿岸土地改良区	ため池

97. 開墾の偉人を慕う 中野1号堤				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
中野1号堤	中野1号堤は旧朝日村中野地域の開墾地50haを灌漑するための貯水施設です。大正10年、当時石油王と言われていた金津村（新潟市秋葉区）の中野貴一が私財を投じて建設しました。均一型アースダム形式で、湖面の温かい水を取り入れるためフロート式の取水口が設置されています。	村上市朝日中野	三面川沿岸土地改良区	ため池

98. おとらさん伝説残る とら堤				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
とら堤 (有明ため池)	とら堤（有明ため池）は村上市有明の農地3haへの灌漑の他、指合（さしあわせ）地区への補給用水として利用されている貯水施設です。ため池に伝わるおとらさんの悲しい物語からとら堤と呼ばれています。昭和10年に神納（かんのう）用水路が完成するまでは100haの農地に灌漑する重要な水源でした。現在、ため池の周囲は公園として水性植物園や遊歩道などが整備され、美しい景観と憩いの場を提供しています。	村上市有明	村上市	ため池

99. 郷土の味覚 沼エビの棲む 松沢上通り堤				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
松沢上通り堤	松沢上通り堤は松沢集落の農地14haに農業用水を補給する貯水施設です。上下2つのため池があり、池の周囲には植樹などの整備も行われ生き物調査や地域の様々な活動に利用されています。晩秋には池に繁殖した沼エビを集落の人々が総出で捕り、沼エビを使った料理が各家庭の食卓を飾ります。	村上市松沢	松沢区長	ため池

100. 越沢の緑に融ける取水施設				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
越沢頭首工	越沢頭首工は葡萄（ぶどう）川上流にある取水施設です。取入れた用水は両岸に広がる農地を灌漑するとともに、冬期には集落の防火用水にも利用されています。水量の調節の他、水路の泥上げや藻の除去など地元で大切に管理しています。	村上市越沢ダングラ	越沢富農組合組合長	頭首工

101. 弥彦の里を守る 矢作排水路				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
矢作排水路	矢作排水路は弥彦村矢作地域の排水を御新田（おしんでん）放水路に流す排水施設で昭和55年に造られました。水路敷地には平成6年地元集落によって桜が植樹され、地元ボランティアが管理する桜並木は春には菜の花とともに見事なコントラストを描いています。	弥彦村	西蒲原土地改良区	排水路

102. 最北のギギ棲む 山岸下江				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
山岸下江	山岸下江は弥彦村山岸地区を流れる排水施設です。ギギとは川や湖の大きな石の下に潜む淡水魚で胸びれのトゲとその付け根の骨をこすりギーギーと独特の音を出します。田植えが終わる頃、ギギ、フナ、コイ、メダカ、ナマズ、石亀などが水路を行き交い、飛び跳ねる魚たちにやさしい水路です。	弥彦村山岸	山岸環境協議会	排水路